

【調査対象：コンクリート塊（Con塊）・アスファルト塊（As塊）等受入施設】
 令和6年（1～12月）建設副産物受入量・再生出荷量等実態調査表

記入例

1. 施設名を記入してください。

施設名	〇〇〇リサイクルセンター
-----	--------------

2. Con塊・As塊等の受入及び再生出荷等の状況について記入してください。（単位：トン）

年月	建設副産物受入量				Con塊・As塊等出荷先			As塊出荷先				最終処分場へ搬出した量 (トン)
	内 訳			合計 (トン)	再生砕石（路盤材、裏込材等）・再生砂		再生アスファルト合材用骨材（再生As骨材）					
	Con塊 (トン)	As塊 (トン)	瓦 (トン)		再生砕石出荷量 (トン)	再生砂 出荷量 (注2) (トン)	再生As骨材 製造量 (トン)	他社への 再生As骨材 販売量 (トン)	自社再生As合材プラントでの 再生As骨材使用量 (注3)			
				RC-30 RC-40 (トン)					左記以外 (注1) (トン)	自社での 製造分 (トン)	他社からの 購入分 (トン)	
R6年1月～12月 年間合計	700	270		970				150				
	A				B				C			

《記入にあたっての注意事項》

- (注1) RC-30又はRC-40以外の再生砕石の出荷量を記入してください。
- (注2) 再生コンクリート砂（再生砂）の出荷量を記入してください。
- (注3) 再生As合材プラントの場合は、自社製造の再生As骨材量と、他社から購入した再生As骨材量を記入してください。

（貴社がAs合材プラントでない場合）

「再生As合材プラントみなし施設」の判定目安

年間のAs塊受入量に対する再生As骨材としての販売割合 = $B/A \times 100 = 55.6$ %

他社への再生As骨材販売がある場合は、割合を記入して下さい

30%を超えた場合、どちらかに○をしてください

上記割合が、30%以上の場合、再生As合材プラントみなし施設として「建設副産物受入単価」内の「As塊受入施設」名簿に登録することができます。
 30%以上の場合、いずれかを選択下さい

登録を 希望する 希望しない)

※ 以下の場合、技術管理課にご連絡下さい

- ・年度途中で、直近12ヶ月間の再生As合材プラントへの販売割合が30%を超え、再生As合材プラントみなし施設として「As塊受入井施設」名簿に登録を希望する場合
- ・認定について、考慮すべき事情がある場合
- 例) 新規施設であり、年間の販売実績がない
 令和6年2月～令和7年1月の販売実績であれば、30%以上となる 等

(裏面へ)

3. 販売先の会社名（再生As合材プラント等）と販売量を記入してください。
 （欄が不足する場合は余白に記入するか、別紙としてください）

販売先As合材プラント名	販売量（t）
〇〇合材センター	70
▲▲合材工場	60
□□リサイクルプラント	20
販売量合計 → （2のBと一致することを確認）	150

4. 再生As骨材を、他社から購入した場合は、購入元と購入量を全て記入して下さい。
 （欄が不足する場合は余白に記入するか、別紙としてください）

購入元 会社名	購入量（t）
購入量合計 → （2のCと一致することを確認）	

← As合材プラントでない場合、
 As合材プラントであっても、購入がない場合は、
 記載不要です